

2026 年 8 月 21 日

各位

会 社 名 株式会社倉元製作所
代表者名 代表取締役 CEO 星 彰治
代表取締役社長兼 CFO 小峰 衛
(コード番号 5216 東京証券取引所スタンダード市場)
問合せ先 代表取締役社長兼 CFO 小峰 衛
(TEL. 0228-32-5111)

第三者割当による新株式発行により調達した 資金の使途及び支出予定時期の変更に関するお知らせ

当社は、2026 年 6 月 15 日開催の取締役会において決議し、2026 年 7 月 1 日に払込みが完了いたしました第三者割当による新株式発行（以下「本第三者割当増資」といいます。）により調達した資金につきまして、下記のとおり、その資金の使途及び支出予定時期の一部を変更することといたしましたので、お知らせいたします。

－記－

1. 資金使途及び支出予定時期の変更の理由

当社は、2026 年 6 月 15 日付「第三者割当による新株式発行に関するお知らせ」において、本第三者割当増資による差引手取概算額 395 百万円の全額を、当社連結子会社の株式会社アイワイロボティクス（以下「IWR 社」といいます。）への貸付を通じて、新製品である業務用トイレ掃除ロボット（T1）400 台分の特注部材の一括発注資金（運転資金）に充当する旨を公表しておりましたが、本日開催の取締役会において、下記のとおり、調達資金の使途及び支出予定時期を変更することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

（品質問題対応費用への変更）

- 1) 2026 年上期において、子会社 IWR 社が大手コンビニ向けに販売した小型清掃ロボットの一部部品に品質問題が発生しました。具体的には、2023 年 12 月から 2026 年 7 月までに納入した約 1100 台の多機能掃除ロボットについて、ゴミ飛散のクレームがあり、当初、保守サービスにより、個別対応しておりました。その後、IWR 社において、クレーム内容を分析した結果、2026 年 5 月に当該品質問題の根本的な解決には性能が向上したモーターへの部品交換が必要と判断しました。
- 2) 現在、コンビニ向けの新たな受注が遅延している状態です。
- 3) その後、2026 年 8 月に、大手コンビニより IWR 社の対応を承認する連絡を正式に受け、継続取引及び顧客からの信頼確保の観点から、性能が向上したモーターへの部品交換（以下、「性能向上プログラム（部品交換）」といいます。）を実施することといたしました。
- 4) 上記、性能向上プログラム（部品交換）のための費用として、製品輸送コスト、部材交換人件費等で 39 百万円の資金が必要となることから、販売済みの掃除ロボットの性能向上プログラム（部品交換）のための費用に資金使途を変更いたします。なお、交換部品については部品仕入先から無償提供を受ける予定であり、上記 39 百万円には交換部品等の費用は含んでおりません。
- 5) 上記性能向上プログラム（部品交換）の完了時期は、大手コンビニの案内手順、当社花泉工場の回収作業の人的リソースおよび対象製品の配送を踏まえ、2026 年 12 月までには交換完了させ、費用の支払いは 2027 年 2 月までに行う予定です。

(既存製品仕入資金への変更)

- 6) また、上記品質問題により主力顧客であるコンビニ向けの新たな受注が遅延し、受注を見込んで商社に対して先行発注した商品の商社の在庫保管期間が長引いたことから、商社との取引条件が、商品販売後の代金支払条件から、2026年8月より、IWR社の商品仕入時の支払条件に変更になったことから、既存掃除ロボット機種の販売に必要となる仕入資金として252百万円の追加資金が必要となる見込みとなり、当該仕入資金252百万円に資金使途を変更いたします。
- 7) なお、当社が既に発行している第9回新株予約権についてもロボット事業の運転資金への充当を予定しておりますが、同新株予約権は権利行使による資金調達であり、調達時期及び調達額が確定していないことから、今後見込まれるIWR社の仕入資金需要に確実に対応するため、今回調達済みの資金の一部を既存機種の仕入資金に充当することといたしました。

(長納期部材の先行手配への変更)

- 8) また、トイレ掃除ロボットについては、当初、400台分の部材を一括発注し、発注時に50%、出荷時に残金50%を支払うことを前提として395百万円を充当する予定としておりました。その後、部材仕入先との協議の結果、資金負担軽減の観点から、初回発注数量を400台から300台に変更するとともに、契約金額の30%に相当する103百万円を前金として支払い、残金については個別受注に応じて順次支払う条件に変更いたしました。
- 9) この結果、本第三者割当増資による調達資金のうち、トイレ掃除ロボットの長納期部材300台分及び試量産用モジュール10台分の先行手配に必要となる103百万円については、2026年7月にIWR社への貸付を通じて既に充当しております。一方、当初予定していた395百万円の全額をトイレ掃除ロボットの部材発注資金に充当する必要がなくなったことから、未充当となる資金について、上記の性能向上プログラム(部品交換)費用及び既存掃除ロボット機種の仕入資金へ資金使途を変更するものです。

2. 変更の内容

(1) 変更前

具体的な資金使途	金額	支出予定時期
運転資金(ロボット事業の部材代一括発注資金)	395百万円	2026年7月～2026年12月
合計	395百万円	

(2) 変更後

具体的な資金使途	金額	支出予定時期
運転資金(トイレ掃除ロボット事業の長納期部材及び試量産用モジュールの先行発注資金)	103百万円	2026年7月(充当済)
運転資金(性能向上プログラム(部品交換)のための費用)	39百万円	2026年10月～2027年2月
運転資金(既存掃除ロボット機種の仕入資金)	252百万円	2026年8月～12月
合計	395百万円	

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しているため、各項目の金額の合計と合計欄の金額が一致しない場合があります。

3. 今後の見通し

本件資金使途及び支出予定時期の変更による当社連結業績への影響については現在精査中です。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上